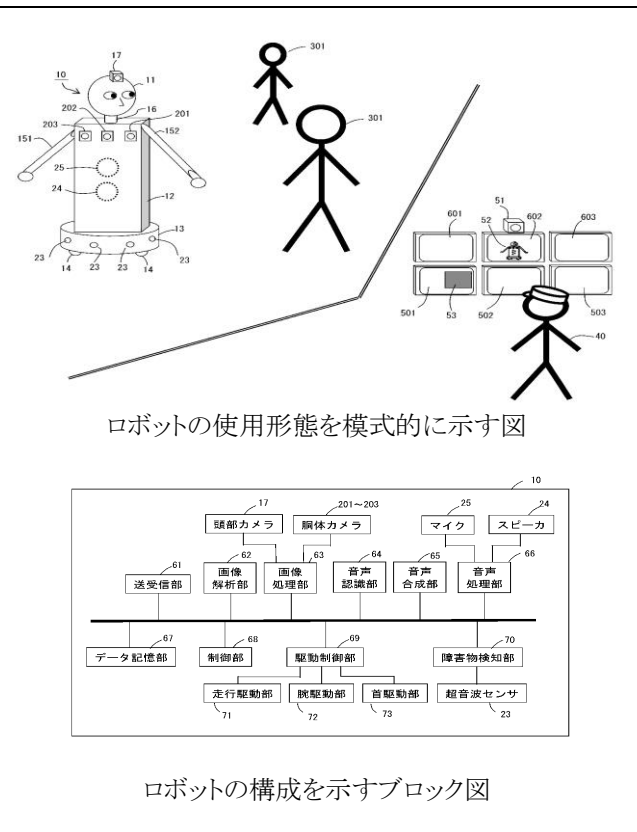


コミュニケーションロボット

概要・品質・性能

第1の対象者301と対面してコミュニケーションを行い、第2の対象者40と通信手段を介してコミュニケーションを行うコミュニケーションロボット10であって、自律的に動作を行う第1のモードと、第2の対象者40から指示された動作を行う第2のモードと、第2の対象者40の動作を反映する動作を行い、第1の対象者301と第2の対象者40とのコミュニケーションを媒介する第3のモードとを実行する。このロボット10は、対面する人301に対して円滑なコミュニケーションを行うことができ、また、通信手段を介して接触する人40との円滑なコミュニケーションが可能であり、さらに、対面する人301と通信手段を介して接触する人40との間の円滑なコミュニケーションを取り持つことができる。



用途

介護ロボット、ガイドロボット、店員ロボット、ウェーターロボット等のサービスロボットに広く適用可能。

技術移転

①形態 特許売却、特許実施権供与
 ②相手先 問わない
 ③地域 国内に限定

実用化・情報

[試作・実験] 完了
 [製造・販売実績] なし
 [技術情報の提供] 技術資料、特許公報
 [情報提供者] 埼玉大学 研究機構
 オープンイノベーションセンター
 [連絡先] 知的財産部門 整理番号：0601-34
 TEL 048-858-9106 FAX 048-858-9120
 e-mail coic-chizai@ml.saitama-u.ac.jp

特許等

特許番号 特許第4512830号
 登録日 平成22年5月21日
 特許権者 国立大学法人埼玉大学
 発明者 久野 義徳